

週刊 鋼構造ジャーナル

2019
1/28 NO. 1911

週刊(毎週月曜日発行)/購読料・1カ年49,500円、6カ月27,000円(税・送料とも)/昭和55年9月26日第三種郵便物認可/発行所・株式会社 鋼構造出版/発行人・田中貴士 編集人・大熊稔/本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 TEL 03-5642-7011(代表) FAX 03(5642)7077/大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル TEL 06(6536)2601(代表) FAX 06(6536)7603/札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 TEL 003-0834 電話011(879)7666 FAX 011(873)3636/振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873/郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

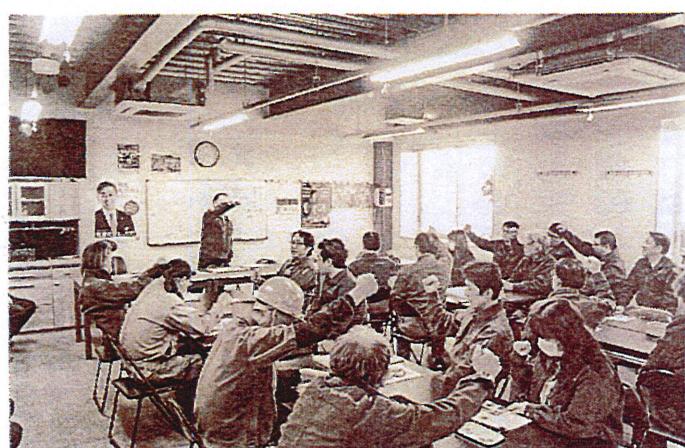
- 「基本理念・行動指針」と認定保持状況確認を承認
- H形鋼は横ばいの8万7000円/1月物価調査会
- ベトナム語でガス、アーケン安全講習/溶接技術
- BIMの活用事例の勉強会/大阪竹和会鉄骨
- 新鉄構企業訪問/若松興業(大阪)



(13) 2019年(平成31年)1月28日

鋼構造ジャーナル

(第三種郵便物認可) 第1911号



元気な声が飛び交う朝礼



発表に「イイネ!」と声をかける清松社長(左)

人材確保がファブリケータの最重要課題とされるなか、清松総合鐵工(大分県宇佐市大字尾永井470-1、清松芳夫社長、Hグレード)は活気あふれる朝礼

そのほか、朝礼の場で率先して間違いや失敗を発表することでおとがめなしに入れているという。

また、「社員募集には社

朝礼がモチベーションアップに
メディア戦略で人材の確保
清松総合鐵工(大分)

で社員のモチベーションアップを図り、社員の定着率向上を実現している。同社の朝礼は、清松社長が独創的なアイデアを基にさまざまなことに取り組んでいるのが特徴だ。

そのひとつが社長講話。月初の朝礼時に15分程度、ユーモアを交えながら働く意義や生産性の考え方などを説く。分かりやすい内容でモチベーションを引き上げると評判になり、見学者が大勢訪れるほど。事前申請が必要だが誰でも受け入れているという。

また、「社員募集には社会での認知が大切」との信念で、17年秋からテレビCMを始めた。「本人だけでなく家族や友人、周りの人が知っていることが選ばれる会社になる第一歩。CMを始めてから求人募集に応募する人が大きく増え、同時に社員は自らの会社に自信と社員である自覚を持つようになつた」と話す。

「ええじゃないか運動」。「失敗を恐れずに何向上を実現している。

の清松社長の思いから生まれた取り組みである。ユニーグループだ。仕事をするなかで必ず1日ひとつは「イエ」と思うことを探して

発表すると、全員でそれに「イイネ!」と声をそろえる。清松社長は「これを続けると自然に社員同士で相手のいいところを見つけようとする癖がつき、結果的に社内に和が生まれる」と話す。

する「ええじゃないか運動」。「失敗を恐れずに何向上を実現している。